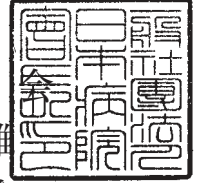


日病会発第1号

平成29年4月1日

理事長 殿
病院長 殿
事務部長 殿

一般社団法人日本病院
会長 堺 常雄
病院経営管理士教育委員会
委員長 土井 章弘



病院経営管理士通信教育 第40回生募集について

拝啓 時下益々ご清栄のこととお喜び申し上げます。

当会における通信教育受講生募集にあたりましては、毎回格別のご支援とご協力を賜り厚く御礼申し上げます。

本通信教育は、昭和53年7月、2カ年間の事務長および病院経営管理者養成のための通信教育を設立し、40年目を迎え、毎年1月と7月に東京で開催される集中スクーリングでは著名な講師陣による教育指導を行い多くの優秀な受講生を送り出してまいりました。

この間、昨今の厳しい病院経営下に適応していくためカリキュラムを改定し、「事務長」のみならず職種を問わず広く病院経営管理に参画する者を対象とした教育を実施しております。

また、本通信教育の修了者には、日本病院会認定の「病院経営管理士」として資格を付与いたします。

つきましては、向学の志を持つ貴院の職員が受講されますようご高配賜りたくお願い申し上げます。

敬 具

記

1. 開講月日 平成29年7月1日
2. 締 切 平成29年5月31日 (締切間際の申込は要連絡)
3. 修業期間 2カ年
4. 受講料 1カ年480,000円(税込)
(但し前期・後期分納として、240,000円毎納入)

※ 本通信教育は、事務長養成課程から通算第40回となる。平成21年度より修了者を「病院経営管理士」として認定。

病院経営管理士通信教育とは

社会の進展、そして医学の進歩には目覚ましいものがあります。また、戦後のわが国の医療制度の変遷の中で、特に目覚ましい発展を遂げたのが病院医療です。そして、個人ではなく、専門医集団と看護師をはじめコ・メディカルなどの多数の病院人による組織として高度の医療提供が行われるようになってきました。これにより病院管理が非常に重要な要素となり、この良否が病院医療の質をも左右するまでになってきました。

また、事務長についても戦前の医療制度における単なる書記集団の長ではなく、専門職集団の中において病院管理全般に亘って、広く深い知識が要求されてくるようになりました。

このような状況を背景に日本病院会では、それぞれの病院の事務長の能力向上および事務長候補者に対する教育体制の確立が必要であるとして、昭和53年（1978年）より「事務長養成課程通信教育」を開始しました。

当初は事務長の職に就いておられる方、もしくは将来その病院での経営管理職のポストに就かれる方の、登竜門としての講座でしたが、その後の時代の変遷とともに、看護師、薬剤師、コ・メディカルの医療従事者も受講されるようになり、名称も「病院経営管理者養成課程」と改められました。

開始当初よりレポート・スクーリング・試験を柱に実施し、既に1,294名の受講生が在籍され、少人数制ではあるものの既に923名の卒業生がそれぞれの病院、施設等で習得された知識を発揮し活躍されています。

時は急速に変化し、昭和60年（1985年）に第一次医療法改正が行われて以来、幾度かの改正を経て、次々と制度が変わってまいりました。

それらの環境の変化に対応すべく、現在のカリキュラムは、Ⅰ．医療関連科目（医療に関する知識）、Ⅱ．経営管理科目（経営管理についての知識）、Ⅲ．経営管理演習（経営手法）、Ⅳ．特別講座、Ⅴ．卒業論文として、演習を含めて病院経営管理全般にわたって広く深い知識が履行できるよう編成しています。

そして、平成21年より本通信教育修了者には、日本病院会認定の「病院経営管理士」としての資格を付与することとなりました。

講師については第一線で活躍されている方のご協力と一部の科目では本講座を受講された卒業生が講師を務め、自分自身が講義を受けた経験を活かして、後輩受講生の指導にあたります。

2年間の通信教育は、自院での限られた人員のなかで、責任ある日常の仕事を処理しながら、スクーリング、レポート提出、期末試験、卒論準備と人知れず自分との闘いの苦労があります。しかしこの苦労を分かち合える同級生が存在しその絆は非常に力強く、切磋琢磨しながら新しい人脈の形成と、不撓不屈の精神を醸成していきます。卒業生たちは「病院経営管理士会」を組織し、定期的な機関誌の発行と、時局のテーマを演題に研修会を開催して、同窓生のブラッシュアップと、最新で最適な情報を発信し続けています。

受講番号

-

※後日確定しますので、記入しないでください。

病院経営管理士通信教育 第40回生受講申込書

このたび病院経営管理士通信教育を受講いたしたく、履歴書を添えて申し込みます。

平成 29 年 月 日

ふりがな 氏 名	㊟			
ふりがな 病 院 名 <small>(経営主体 種別 病床数)</small>	経営主体※1	種 別※2	病 床 数※3	
役 職 名				
所 在 地	〒			
電話番号・FAX	TEL	FAX		
教材・連絡文 書等の送付先 <small>(勤務先・自宅)</small>	〒			
	TEL E-Mail	FAX		
管 理 者 名	㊟ ㊟ ㊟			

一般社団法人 日本病院会会長 殿

(注) (1) 上記該当欄に必要な事項を記入のうえ、本紙を事務局まで郵送すること。

※履歴書添付(写真3枚必要。1枚は履歴書貼付、2枚は同封のこと。)

(2) 受講料は「受講受理通知」受領後すみやかに納入すること。

*ご記入いただきました個人情報は、以下の利用目的に限り使用いたします。

・名簿作成、教材発送・レポート返送などの送付、通信教育関連のご案内、お問合せ・ご相談への応答、
その他通信教育事業に附帯する内容の提供。

・通信教育事業の開発、改善のための調査・研究(アンケートの送付など)

※1、※2は以下から選択して記入すること。

経営主体※1：厚生労働省、独立行政法人国立病院機構、国立大学法人、
独立行政法人労働者健康福祉機構、国立高度専門医療研究センター、
独立行政法人地域医療機能推進機構、その他(国)、都道府県、
市町村、地方独立行政法人、日赤、済生会、北海道社会事業協会、
厚生連、国民健康保険団体連合会、健康保険組合及び連合会、
共済組合及びその連合会、国民健康保険組合、公益法人、医療法人、社会医療法人、
私立学校法人、社会福祉法人、医療生協、会社、その他法人、個人

種 別※2：一般、特定機能、地域医療支援、精神、結核、専門

病 床 数※3：許可病床数の合計数を記入

受講の申込から卒業まで

レポート

該当科目のレポートを課題に沿って自学習し、期日までに仕上げます。内容については担当講師により評価され、受講生に返却します。

スクーリング（面接授業）

1単位3時間の講義を49単位144時間、半期に1度5日間、東京においてスクーリングとしておこない出席単位を取得します。一方的な講義だけでなく演習を設け、事例を研究・検討し、発表・討論する講義も実施します。

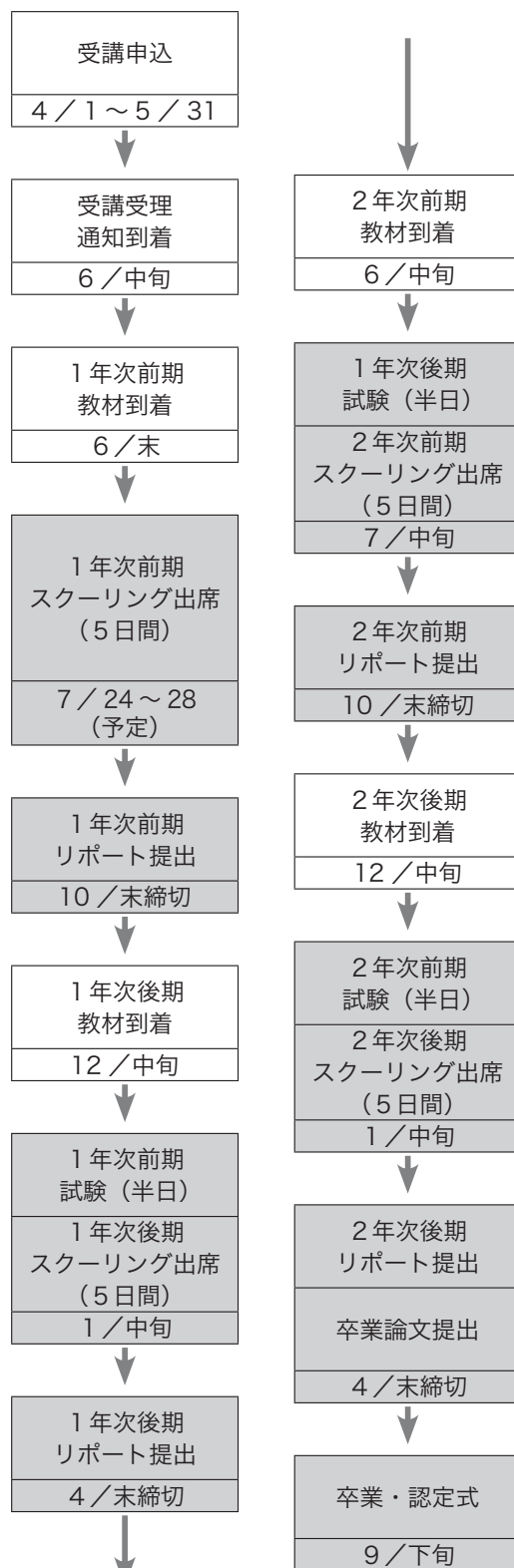
試験

習得した知識を確認するため筆記試験を行い合格者に所定の単位が与えられます。

卒業論文

2年間の集大成として、日常業務における研究・調査報告、事例報告、また、各科目の講義等から「病院経営管理に関する事項」のテーマを選び提出し、評価されます。

*平成29年4月1日現在の情報です。受講期間中に、一部改訂の場合もあります。



※スケジュールは事情により変更になる場合があります。
詳細は受講生ご本人にお知らせいたします。
※スクーリングは東京において5日間行われます。
（初回は上記7月24日～28日（金）を予定）

—— 病院経営管理士通信教育実施要綱 ——

病院経営管理士通信教育

第40回生募集

目的及び対象

病院経営管理に関する業務は広範多岐にわたっており、単に病院長、事務長にとどまらず病院における各職種の管理者にとっても病院医療、経営管理、マーケティング等病院組織全体にわたる知識と総合的判断力が不可欠となっております。

日本病院会では昭和53年より2年制の通信教育により事務長を養成してきましたが、現在では多職種により構成される病院の管理運営を円滑かつ積極的に実行する能力および適応力をそなえた医療機関職員を養成することを目的に病院経営管理士通信教育を実施しています。

受講資格並びに受講内容

1. 受講資格

- (1) 施設等の長が適格と認められた者、また同等と認められる者。
- (2) 短大卒以上(ただし病院勤務者は当分の間高卒でもよい)

2. 募集定員 50名程度 (先着順)

3. 申込方法

- (1) 申込用紙は本紙を使用のこと。
- (2) 履歴書は別紙を使用、写真添付のこと。
※申込用紙と履歴書に①学歴、②職歴、③病院勤務歴等を記入したものを当会事務局に郵送すること。
- (3) 申込締切日 平成29年5月31日

4. 実施要綱

- (1) 修業期間 2カ年
- (2) 受講者選考 書類審査
- (3) 受講料 1カ年480,000円(税込)
(ただし前期・後期分納として、240,000円毎納入)

※受講者選考後、該当者へ受講受理通知を送付する。
受講受理通知を受けてから、1年次前期分を指定口座に納入すること。ただし、既納の受講料は返却しない。

5. スクーリング (予定)

- (1) 開催地 東京
- (2) 会場 一般社団法人日本病院会
東京都千代田区三番町9-15
ホスピタルプラザビル セミナールーム
電話 (03) 3265-1281
- (3) 期日 平成29年7月24日(月)～7月28日(金)

6. 資格

修了者は一般社団法人日本病院会認定の病院経営管理士として会に登録する。

7. 履修科目 39科目 (49単位)、講師 (平成28年度実績) ※都合により教科目、担当講師が変わることもあります。

教科目	講師 (敬称略)	単位
I. 医療関連科目 (医療に関する知識)		
1. 医学概論	杉田 克生 (千葉大学 教育学部教育学研究科 教授)	1
2. 診療部門管理	中 佳一 (東名厚木病院 理事長)	1
3. 看護部門管理	高橋 弘枝 (公益社団法人大阪府看護協会 会長)	1
4. 薬剤部門管理	遠藤 一司 (日本病院薬剤師会 専務理事)	1
5. 医療技術部門管理	日下部 行宏 (聖隷福祉事業団 理事・常務執行役員)	1
6. 医事・事務部門管理	櫻井 雅彦 (三井記念病院 シニアマネージャー)	1
7. 病院人事・労務管理	佐合 茂樹 (木沢記念病院 事務長・病院長補佐)	1
8. 病院管理概論	小山 秀夫 (兵庫県立大学大学院 経営研究科 教授)	1
9. 栄養食事管理	中村 丁次 (神奈川県立保健福祉大学 学長)	1
10. 病院物品管理	大石 洋司 (㈱日本エム・ディ・エム 監査役)	1
11. 病院施設・設備管理	小室 克夫 (聖路加国際病院 施設環境設備課マネージャー)	1
12. 環境衛生管理	酢屋 ユリ子 (元 北里大学病院事務部 環境整備課長)	1
13. 診療情報管理	鈴木 莊太郎 (藤沢市保健医療センター 顧問)	1
14. 医療安全管理概論	橋本 迪生 (日本医療機能評価機構 執行理事)	1
15. 病院建築論	長澤 泰 (東京大学 名誉教授・工学院大学 名誉教授)	1
16. 医事関連法規	西脇 正義 (埼玉県立循環器・呼吸器病センター 主査)	1
17. 医事紛争	児玉 安司 (新星総合法律事務所 弁護士)	1
18. 社会保障概論	府川 哲夫 (福祉未来研究所 代表)	1
19. 医療経済学	山内 一信 (東員病院・認知症疾患医療センター 院長)	1
20. 医療・介護保険制度	大久保 一郎 (筑波大学 医療科学系 教授)	1
	合計	20

II. 経営管理科目（経営管理についての知識）		
1. 組織管理論(1) 経営戦略と組織	明石 純 (関西学院大学 経営戦略研究科教授)	2
2. 組織管理論(2) 組織行動と人的資源管理	明石 純 (関西学院大学 経営戦略研究科教授)	2
3. 統計概論	中村 洋一 (茨城県立医療大学 名誉教授)	1
4. マーケティング論(1) マーケティング概論	吉長 成恭 (県立広島大学大学院 経営管理研究科客員教授)	2
5. マーケティング論(2) マーケティング戦略	吉長 成恭 (県立広島大学大学院 経営管理研究科客員教授)	2
6. 財務管理論(1) 基礎編	石尾 肇 (石尾公認会計士事務所 公認会計士)	2
7. 財務管理論(2) 実務編	西田 大介 (監査法人MMPG エーマック 代表社員 公認会計士)	2
8. 病院経営管理概論	正木 義博 (済生会支部神奈川県済生会 支部長)	2
合計		15

III. 経営管理演習（経営手法）		
1. 組織管理演習(1)	明石 純 (関西学院大学 経営戦略研究科教授)	1
2. 組織管理演習(2)	明石 純 (関西学院大学 経営戦略研究科教授)	1
3. 統計演習	中村 洋一 (茨城県立医療大学 名誉教授)	1
4. マーケティング演習(1)	吉長 成恭 (県立広島大学大学院 経営管理研究科客員教授)	1
5. マーケティング演習(2)	吉長 成恭 (県立広島大学大学院 経営管理研究科客員教授)	2
6. 財務管理演習	西田 大介 (監査法人MMPG エーマック 代表社員 公認会計士)	2
7. 病院経営管理演習	正木 義博 (済生会支部神奈川県済生会 支部長)	2
合計		10

IV. 特別講座		
1. 病院機能評価概論	梅里 良正 (地域医療振興協会 シニアアドバイザー)	1
2. 先進医療概論	宮坂 信之 (東京医科歯科大学 名誉教授)	1
3. 医療(病院)情報 システム管理	八幡 勝也 (住田病院 副院長)	1
合計		3

V. 卒業論文		
卒論指導	鈴木 莊太郎 (藤沢市保健医療センター 顧問)	1
	松峯 敬夫 (東峯婦人クリニック 理事長)	
総計		49

8. 単位修得方法

(1) 上記の履修科目 39 科目 (49 単位) を修得しなければならない。

この 49 単位の修得方法は、

①面接授業（スクーリング）の出席

1 年を前期（例年 7 月）と後期（例年 1 月）に分け、各 5 日間東京で行われるスクーリングに出席すること。計 4 回のスクーリング出席となる。

②レポートの提出及び合格評価

上記科目の全てについて、スクーリング前に該当科目のレポート問題が送付される。そのレポートをスクーリング後、自習により作成する。そのレポート評価が合格基準を満たすこと。

③期末試験の合格

該当科目について講義されたスクーリングの試験を次期スクーリング前に実施。これを受験し合格すること。

④卒業論文の提出及び合格評価

上記 3 つの単位取得要件を満たし、かつ卒業論文を提出すること。

(2) レポートの提出

該当科目のレポートが送付されるので、教科書等で自習しレポートを作成する。レポートは期日までに会に送付すると該当科目講師によって添削され、本人に返送される。各科目毎の全レポート提出がない場合は、該当科目の期末試験は受けられない。

(3) 面接授業（スクーリング）

スクーリングは 1 年を前期と後期に分け各 5 日間東京で行う（年 2 回）。出席できなかった場合は次の学年のスクーリングを受講すること。ただし、勤務の都合でスクーリングに欠席した場合、代替措置により出席とみなす。

(4) 期末試験

該当科目の全レポート提出およびスクーリングに出席しないと各科目の期末試験は受けられない。期末試験は学習スケジュールにしたがって該当科目が講義されたスクーリングの次期スクーリング前に受験する。合否の判定は、この試験にもとづき一般社団法人日本病院会病院経営管理士教育委員会で行う。

9. 申込及び問い合わせ

一般社団法人 日本病院会 通信教育課
〒102-8414 東京都千代田区三番町 9-15

ホスピタルプラザビル

電話 (03) 3265-1281

FAX (03) 3265-1282

<http://www.jha-e.com/mcmm/>

銀行振込先

三菱東京 UFJ 銀行 麹町中央支店 普通預金
口座番号 4352800

一般社団法人 日本病院会通信教育部

【個人情報等の取扱いについて】

(下記事項に同意いただけましたらチェック願います。チェックがない場合は申し込みできません)

日本病院会・病院経営管理士通信教育におきまして、下記によりあなたの肖像(受講風景等の画像)ならびに個人情報を利用させていただきたく、内容をご確認のうえ、ご承諾いただきますようお願いいたします。

なお、写真等の掲載および個人情報の取扱いについては、肖像権並びに個人情報保護の観点から本会として万全の措置を取らせていただきます。

記

1. 個人情報の利用目的について

肖像並びに個人情報の使用について日本病院会は、受講者からご提示いただいた名前、住所、電話番号、性別、その他の受講者個人に関わる情報(以下「個人情報等」)を、日本病院会 病院経営管理士通信教育に関する受講者への連絡、受講者管理、受講者間の親睦を目的として配布する受講者名簿の作成に利用させていただき、受講者の承諾なく、他の目的には利用いたしません。

2. 個人情報の委託について

日本病院会は、病院経営管理士通信教育受講に伴いお預かりした個人情報等を、以下のいずれかに該当する場合を除き、取り扱いを委託することはありません。

- ・連絡物の発送を宅配業者に委託する場合

3. 個人情報の提供の任意性について

個人情報の提供がされない場合、受講することが出来ません。

4. 個人情報の開示等について

日本病院会は、個人情報等の開示、変更、削除の求めがあった場合には、受講者ご本人であることを確認させていただいたうえで、すみやかに対応いたします。また、入講後は、個人情報等を含む受講申込書類一式は原則、返却いたしません。

〈個人情報保護管理者〉 大道 道大

以上

平成29年4月1日

一般社団法人 日本病院会 病院経営管理士教育委員会 委員長 土井 章弘

「日本病院会・病院経営管理士通信教育 個人情報等の取り扱いに関して」に
同意します